

令和3年度 情報学群 総合型選抜 B区分

数 学 ①  $\frac{1}{4}$

以下の問1～3のすべてに答えなさい。

問1 関数  $f(x)$  を  $f(x) = x^3 - 3x + 1$  とし、 $y = f(x)$  のグラフに点 A  $(2, a)$  から引ける接線の本数について考える。以下の文章中の空欄  $\boxed{\text{ア}}$  ～  $\boxed{\text{カ}}$ 、 $\boxed{\text{ケ}}$  ・  $\boxed{\text{コ}}$  にあてはまる数をそれぞれ答えなさい。また、空欄  $\boxed{\text{キ}}$  ・  $\boxed{\text{ク}}$  に入れるのに最も適当なものを次ページの解答群のうちから一つずつ選びなさい。

(1) 関数  $f(x)$  を  $x$  で微分すると

$$f'(x) = \boxed{\text{ア}} x^2 - \boxed{\text{イ}}$$

となる。これより、関数  $f(x)$  は

$$x = \boxed{\text{ウ}} \text{ で極大値 } \boxed{\text{エ}}$$

$$x = \boxed{\text{オ}} \text{ で極小値 } \boxed{\text{カ}}$$

をとる。

(2)  $y = f(x)$  のグラフ上の点  $(t, f(t))$  における接線の方程式は

$$y = f'(t)x + \boxed{\text{キ}}$$

である。この直線が点 A を通るとき

$$\boxed{\text{ク}} = a \quad \dots\dots \text{①}$$

が成り立つ。 $y = f(x)$  のグラフに点 A から引ける接線の本数と、 $t$  についての方程式 ① の解の個数は一致する。 $a = -5$  のとき、 $y = f(x)$  のグラフに点 A から  $\boxed{\text{ケ}}$  本の接線が引ける。また、 $a = -1$  のとき、 $y = f(x)$  のグラフに点 A から  $\boxed{\text{コ}}$  本の接線が引ける。

令和3年度 情報学群 総合型選抜 B区分

数 学 ①  $\frac{2}{4}$

キ の解答群

①  $-2t^3 + 1$

②  $t^3 - 3t + 1$

③  $2t^3 - 1$

④  $4t^3 - 6t + 1$

ク の解答群

①  $-2t^3 + 6t^2 - 5$

②  $t^3 + 6t^2 - 3t - 5$

③  $2t^3 + 6t^2 - 7$

④  $4t^3 + 6t^2 - 6t - 5$

数 学 ①  $\frac{3}{4}$ 

問2  $a, b$  を定数とする。関数  $f(x)$  において、 $f(x)$  が  $x = \alpha$  で定義されていて、 $\lim_{x \rightarrow \alpha-0} f(x), \lim_{x \rightarrow \alpha+0} f(x)$  が存在し、ともに  $f(\alpha)$  に等しいとき、 $f(x)$  は  $x = \alpha$  で連続であるという。

$$f(x) = \begin{cases} x^2 + ax + b & (-1 < x < 1) \\ \frac{1}{x} & (x < -1, 1 < x) \\ \frac{2+a+b}{2} & (x = 1) \\ \frac{-a+b}{2} & (x = -1) \end{cases}$$

のとき、 $f(x)$  がすべての実数  $x$  で連続となるような  $a, b$  の値を求め、 $y = f(x)$  のグラフをかきなさい。解答にあたっては、解答の過程も記述しなさい。

令和3年度 情報学群 総合型選抜 B区分

数 学 ①  $\frac{4}{4}$

問3 以下の問に答えよ。解答にあたっては、解答の過程も記述しなさい。

- (1)  $x > 0$  のとき、不等式  $e^x > 1 + \frac{x^3}{6}$  が成り立つことを証明しなさい。
- (2) (1) で証明した不等式を用いて、 $\lim_{x \rightarrow \infty} \frac{(\log x)^2}{x}$  の値を求めなさい。

数学①はここまで